



播磨の歴史

曾根天満宮一ツ物神事

神様が宿る存在として、「一ツ物」と呼ばれることもが登場



高砂市

曾根天満宮では、秋祭りのときに「一ツ物神事」と呼ばれる行事が行われます。一ツ物とは、祭りのときに登場する特別な衣装を着たこと、こと。祭りの間は「一ツ物に神様が宿ると考えられ、一ツ物の話すことを神様の言葉として受け取っていました。万が一のことがあっても他に交えることのできない唯一のもの」という意味から「一ツ物」と呼ばれ、祭りの時には地面に足をつけないように馬や人の背に乗せられるなど、大切に扱われます。県の無形民俗文化財に指定されています。



高砂市曾根町2286-1 ☎079-447-0645

松原八幡神社秋季例大祭

勇ましく神輿をぶつけあう「灘のけんか祭り」



姫路市

松原八幡神社で行われる秋季例大祭では、豪華な屋台の美しさを競い合う「練り合わせ」と、神輿を打ち合わせる神事が行われます。その神輿を激しくぶつけ合うことから「灘のけんか祭り」とも呼ばれます。これは神功皇后が九州からの帰途妻鹿の港に立ち寄り、船についたごいなという小貝を船と船を寄せ合わせてかき落としたという故事によるもので、「碁似名落し」神事と呼ばれ古くから行われています。掛け声とともに神輿がぶつかる姿は勇ましく、全国のけんか祭りの中でも最大級の祭りといわれています。県の重要無形民俗文化財に指定されています。



姫路市白浜町甲396 ☎079-245-0413

縄文・弥生時代



今から1万数千年前から紀元前4世紀ごろまでを縄文時代といいます。兵庫県にある縄文時代早期の遺跡は、但馬地方の山地に集中しています。神河町の福本遺跡からは、縄文時代早期の押型文様の土器が播磨地域で初めて発見され、「福本式土器」とよばれています。

約2400年前から約1700年前を弥生時代といいます。縄文時代から弥生時代になると、人々の住む場所は山地から低地へと移り変わっていきました。縄文時代の遺跡があまり見られなかった播磨地方ですが、弥生時代になると遺跡の数が増え、その面積も大きくなっていきます。特に、姫路市や加古川市を中心とする南の低地には数多くの遺跡が集中しています。弥生時代の村の様子を復元した公園に、播磨町

の播磨大中古代の村や、赤穂市の有年原・田中遺跡公園などがあります。また、一度暮らし始めた人々が長く定住したのも播磨地方の特徴です。たつの市の新宮宮内遺跡、宍粟市の家原遺跡、赤穂市の東有年・沖田遺跡などは、縄文時代から平安・室町時代まで続いた複合遺跡（二つ以上の時期にわたる遺跡）です。



③福本遺跡(神河町)
神崎郡神河町福本



①日笠山貝塚(高砂市)
日本全国で見られる縄文時代の人々が食べた貝の殻や動物や魚の骨などを捨てたごみ捨て場の跡「貝塚」。兵庫県の瀬戸内海沿岸地域から見つかった貝塚は日笠山貝塚だけです。左上の人骨は、播磨町の兵庫県立考古博物館で展示されています。



④新宮宮内遺跡(たつの市)
たつの市新宮町新宮・宮内
☎0791-75-5450(歴史文化財課)



⑤有年原・田中遺跡公園(赤穂市)
赤穂市有年原1090
☎0791-43-6962



⑥東有年・沖田遺跡公園(赤穂市)
赤穂市東有年1936
☎0791-43-6962



⑦家原遺跡公園(宍粟市)
宍粟市一宮町三方町633
☎0790-74-1000(一宮温泉まほろばの湯)



古墳時代

古墳の数が全国ナンバーワン！



④玉丘史跡公園(加西市)
『播磨国風土記』(→P89)に記された根日女伝承ゆかりの全長109mの玉丘古墳を中心に小さな古墳が集まっています。
加西市玉丘町76



③行者塚古墳(加古川市)
人塚古墳、尼塚古墳とともに西条古墳群の中心となる古墳。全長99m。
加古川市山手二丁目



②壇場山古墳(姫路市)
播磨地方で最大級の前方後円墳。
姫路市御国野町園分寺



⑤みかんのへた山古墳(赤穂市)
古墳時代中期に造られた海に面した直径28mの円墳。海域を支配した豪族の墓と考えられています。
赤穂市坂越



⑥見野古墳群(姫路市)
古墳時代後期の群集墳。6号墳は二つの横穴式石室を持つ珍しい遺構。10号墳は巨石を使用した横穴式石室で、古くから姫路の石舞台として知られます。
姫路市四郷町見野



たくさんの古墳が造られていました

大きな古墳を次々と造るようになります。市川流域にある壇場山古墳(姫路市)は全長約143mと播磨地方で最大級の古墳です。揖保川流域で最大規模を誇るのは興塚古墳(たつの市)。さらに、加古川流域では上流部と下流部に二つの勢力があったと考えられています。上流には加西市の玉丘古墳群、下流には加古川市の西条古墳群があり、それぞれ県内10位以内の前方後円墳を築き、力を競ったとみられます。

その後、4〜5世紀になると、平野部を支配する豪族が、古墳として有名です。

3世紀後半から300年ほどの間、大王(のちの天皇)や豪族の大きな墓(古墳)が造られるようになりました。この時代を古墳時代といいます。

2013年の文化庁の調べによると日本にある古墳の数は16万1560基。そのうち兵庫県にある古墳の数は1万6577基と全国2です。さらに、播磨地方の古墳数は約7000基で、県内でも古墳の多い地方です。前方が方形(四角形)で後方が円形をした前方後円墳も多く見られます。3世紀半ばに造られたとみられる、姫路市の瓢塚古墳やたつの市の吉島古墳は、播磨地方だけでなく日本最古級の古墳として有名です。



①愛宕塚古墳(播磨町)
播磨町内に現存するただ一つの古墳で、県の文化財に指定されています。直径22mの円墳で、埴輪などが発見されていることから、この地を治めていた豪族の墓だと考えられています。
加古郡播磨町北野添2-1



今に残る古刹(古い寺)が建てられ始めます

飛鳥・奈良・平安時代

701年、唐(中国)の律令制にならって大宝律令が定められます。現在の兵庫県域には摂津・播磨・丹波・但馬・淡路の五国があり、中でも播磨国は12の郡からなる大國でした。

政治の中央集権化を進めるため、都と地方を結ぶ道と駅家が整備されました。駅家とは国の役人や使者が宿泊したり、馬を交換したりする施設です。播磨国には都と大宰府(九州)を結ぶ重要な道・山陽道が通り、9つの駅家があったといわれています。山陽道の駅家の遺構として、布勢駅家跡(たつの市)や野磨駅家跡(上郡町)が見つかっており、全国的に貴重な遺構となっています。

白鳳期(大化の改新から平城京遷都までの時代)になると、全国的に寺が建てられるようになります。播磨地方にも加古川市の西条廃寺や太子町の斑鳩寺(→P.75)をはじめとする数多くの寺が建てられました。また、加古川の一乗寺(→P.70)や加古川市の鶴林寺(→P.72)には白鳳時代の貴重な仏教美術が今に伝

えられています。

奈良時代になると国ごとに国分寺と国分尼寺が建てられ、仏教の信仰がすすめられました。播磨国では姫路市に国分寺跡が残っています。平安時代には天台宗や真言宗などの新しい宗派が生まれました。播磨地方でも空海(真言宗の祖)が開いたと伝えられる寺が残るほか、平安中期には性空上人により圓教寺(姫路市)(→P.73)が開かれました。



仏教がさかんに信仰されました

多くの社会事業を行なった僧

行基

[668~749]

奈良時代の僧。布教のかたわら諸國をめぐって橋や道を作るなど社会事業を行いました。聖武天皇が東大寺の本尊として高さ15mの大仏を作ろうとしたとき、農民の協力を得るために人気の高い行基に協力を求めます。行基は朝廷の期待に応え、大仏づくりを成し遂げました。兵庫県には行基が開いたと伝えられる寺が数多くあります。播磨地方では加西市の酒見寺(→P.44)、佐用町の瑠璃寺などが行基開創と伝えられています。



⑤ 瑠璃寺

佐用郡佐用町船越877 ☎0790-77-0450

④ 鵜莊勝示石

(お太子さんの投げ石) (太子町)

聖徳太子が推古天皇にもらった土地の境に置いたといわれる石。4カ所の石が県の文化財に指定されています。揖保郡太子町



③ 播磨国分寺跡(姫路市)

一辺約218mの寺域の中に塔や金堂、講堂などの建物が配置されました。

姫路市御園野町国分寺



② 西条廃寺(加古川市)

奈良時代前期の古代寺院跡。法隆寺式の伽藍配置をしています。

加古川市山手二丁目、西条山手二丁目



① 落地遺跡(上郡町)

野磨駅家跡、山陽道跡が良好に残り、駅家の全体像が分かる貴重な遺跡。

赤穂郡上郡町落地

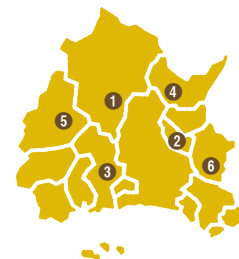


播磨国風土記

713年5月、ときの元明天皇が地名にふさわしい文字をあてさせるとともに、国内の特産物やめずらしい植物や動物、土地の豊かさ、山川原野の名前の由来、神話や伝説、昔話を集めて報告するように命令を出しました。このような国の情報を集めたものが後に「風土記」と呼ばれるようになります。

「播磨国風土記」は命令が出てから、最も早く完成したといわれます。原本は失われましたが、平安時代の写本が京都・三条西家に伝わり、その後、加賀藩五代藩主・前田綱紀の発見・修復により世に出ました。この写本は国宝に指定されています。

また、このとき作られた「風土記」の中で、内容がほぼ完全に残っているのは「出雲国風土記」、一部欠損して残っているのが「播磨国風土記」「常陸国風土記」「肥前国風土記」「豊後国風土記」。このうちを五古風土記と呼んでいます。「風土記」に報告された地名の多くは、今も残っています。1300年前の地域の姿を今に伝える、貴重な「書物」です。



播磨国風土記の伝説、
地名の由来の一部を紹介します

① 伊和大神と天日槍命

客神(外来神)である天日槍命が、播磨地方固有の神である伊和大神と宍粟郡の土地を争い合ったときのこと。激しく争った後、二人はつる草の輪っかをけり飛ばして決着をつけることにしました。伊和大神の輪っかの1本は但馬の気多の郡に、1本は夜夫に、1本はこの村(宍粟郡御方)に落ちました。一方、天日槍命の輪っかはみな但馬の国に落ちたため、但馬国の神様になったといわれています。

宍粟市一宮町須行名407



伊和神社



③ 野見宿禰の墓(たつの市)

すもうの神様・野見宿禰が、大和から故郷の出雲へ帰る途中、龍野の地で亡くなったため出雲から多くの人々がやって来て、川石を運び上げて墓を築いたとされています。野に人が立ち並んだことから「立野」といい、いつしか「龍野」になったといわれます。

たつの市龍野町北龍野



⑤ 佐用都比売神社(佐用町)

地元では「佐用姫さん」の名で親しまれる歴史の古い神社。「播磨国風土記」の讃容郡の条に、同郡の名は土地神を費用都比売命と号したことに由来されると記されています。

佐用郡佐用町本位田甲261



② 神前山(福崎町)

伊和大神の子、建石敷命が山使村の神前山に降り立ちました。この山は神様がいて山というので神前山と呼ばれるようになりました。

神崎郡福崎町山崎



④ 聖の大岩(神河町)

大汝命と小比古尼命の2人の神様が我儘比べをして歩き、神河町辺りで小比古尼命が聖(赤土のねん土)を放りなげました。この時、固まって岩となった聖が日吉神社の裏山にある大岩だといわれています。投げた土が岡をなし、聖岡の里というようになったといわれます。

神崎郡神河町比延245

⑥ 根日女伝承(加西市)

後に23代額宗天皇と24代仁賢天皇になる二人の皇子が、父を殺害されて都を逃れ、播磨に身を隠します。やがて再起を図り身分を明かした意彥・袁彥二皇子は、賀毛郡の国造許麻の娘・根日女に求婚しますが、ゆずり合い結婚しないまま、都へ戻ってしまいます。その後、年月は流れ、根日女は亡くなってしまいます。二人の皇子は深く悲しみ、根日女のために大きな墓を造るよう命じます。玉で美しく飾られたお墓を「玉丘」と呼んで、いつまでも根日女のことを語り伝えたといえます。

加西市玉丘町76



玉丘古墳

播磨国を代表する武将・赤松氏が活躍！

鎌倉・室町時代



10世紀になると、地方政治が乱れるようになり、武士が誕生します。中でも源氏と平氏は大武士団のかしらとして力を強めていきました。

播磨国は保元・平治の乱の後、平清盛が国守となり、その後は平氏の知行国となります。源平の戦いで平氏が敗れると、源氏勢力は御家人を守護や地頭に任命して地方に派遣。しかし、幕府の統制力が乱れるとともに、播磨国各地で「悪党」と呼ばれた勢力が強くなっていきます。

1333年、赤松円心は上郡町の吾縄付近で「打倒鎌倉」の兵を挙げ、京の幕府の拠点である六波羅探題を攻め落とししました。その後も建武政権と対立する足利尊氏を助け、白旗城(上郡町)を築いて新田義貞を食い止めるな

ど、室町幕府の成立に貢献。室町幕府の下、摂津・丹波は細川氏、播磨は赤松氏、但馬は山名氏の守護分国となり、これらの三家は幕府の重要な役割を果たすようになります。1441年、強大化する守護大名の力をおそれた六代将軍・義教が、赤松満祐に殺される事件が起こります。事件後には赤松氏も幕府軍によって滅ぼされてしまいます。これが嘉吉の乱です。乱の後、播磨国は山名氏に与えられました。その後、山名氏と細川氏の対立が激しくなり、1467年に将軍のあとつぎ争いから応仁の乱が始まります。京都を中心に11年間続いた戦いで、将軍の力は衰え、各地に戦乱が広がっていきました。



②赤松円心坐像(宝林寺)(上郡町)
赤松円心の三男則祐が建てた臨濟宗の寺。赤松氏とともにおとろえますが、江戸時代に真言宗に改め再興されます。赤松氏ゆかりの寺として「赤松三尊像」が伝えられます。
赤穂郡上郡町河野原279
☎0791-52-1277(松雲寺)

①白旗城跡(上郡町)
赤松円心が建武政権に反旗を翻した足利尊氏に味方し、尊氏を追撃する新田義貞の軍勢を迎え討つために築られました。赤松氏城跡として感状山城跡(P.94)、置塩城跡(P.94)とともに国の史跡に指定されています。
赤穂郡上郡町赤松



③古井家住宅(千年家)(姫路市)
室町時代末期に建てられたといわれる民家。全国的にも非常に古い遺構で「千年家」と呼ばれます。
姫路市安富町皆河233-1

武士が台頭し戦乱の世の中になっていったよ



播磨が生んだヒーロー

黒田官兵衛

[1546~1604]



かんべえくん



てるひめちゃん

☆織田信長を支持!

戦国時代の播磨は「織田につくか毛利につくか」で意見が分かれていました。官兵衛は周囲を「織田信長につくべき」と説得し、岐阜で信長に会い「大将を一人遣わせば、先手を務めましょう」と述べました。感動した信長は名刀「庄切」を与えたと伝えられています。

☆姫路城を秀吉に献上

三木城開城後、秀吉は三木を拠点にして毛利攻めを行おうとしました。官兵衛は「姫路こそ国主のいる場所です」と自らの居城を差しだし、自分は国府山城に移ったといわれています。

☆中国大返しを進言

1582年、毛利を攻めるため備中・高松城(岡山県)にいた秀吉と官兵衛に「本能寺の変」が知られます。官兵衛は秀吉に「ご自身で天下を取る好機です」と進言。秀吉の天下取りに大きく貢献しました。



②御着城跡(姫路市)

黒田家が仕えた小寺家の本城。官兵衛が家督をつくまで小寺政職の近習として仕えたといわれます。

姫路市御野町御着

①国府山城跡(姫路市)

別名、妻鹿城、功山城。官兵衛は姫路城を秀吉に明け渡したのち、父・職隆が隠居していた国府山城に移ったといわれています。

姫路市飾磨区妻鹿



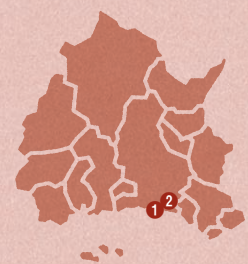
秀吉は姫路を拠点に毛利攻めに着手しますが、1582年に本能寺の変で信長が明智光秀に殺されると、岡山から光秀のいる京都へ取返して返します。およそ200kmの行程を7日で戻った「中国大返し」により、秀吉は天下統一の達成へ突き進んでいきます。

れた兵糧攻めにより別所長治の三木城は開城。その後、三木氏英賀城攻め、宇野氏長水城攻めを経て、秀吉は播磨を平定します。

秀吉は姫路を拠点に毛利攻めに着手しますが、1582年に本能寺の変で信長が明智光秀に殺されると、岡山から光秀のいる京都へ取返して返します。およそ200kmの行程を7日で戻った「中国大返し」により、秀吉は天下統一の達成へ突き進んでいきます。



秀吉の全国統一を官兵衛が助けるよ!



戦国時代

家老から大名へ——。黒田官兵衛が登場!

中世の城

室町時代になると籠城も視野に入れた守りに強い城が建てられるようになります。その先駆けが赤松円心の菩提城や白旗城(→p.60)。その後、播磨には多くの城が築かれます。その正確な数は分かりませんが、播磨だけで400以上もの城跡があるといわれています。中世には軍事的な目的で建てられた山城が多く、戦国時代になると領主の居城としての目的から建てられた平山城が多くなります。播磨における中世の山城は、豊臣(羽柴)秀吉の播磨攻めによって廃城となったものが多く、江戸時代までに城としての機能を失います。



②英賀城跡
姫路市飾磨区英賀宮町2-70
室町時代に赤松氏の一族が守り、その後三木氏が入って英賀御堂を中心に繁栄したものの、秀吉軍の猛攻により落城したといわれます。



③置塩城跡
姫路市夢前町宮置
1469年に播磨守職頼の赤松政則が築城したとされます。現在の遺構は戦国時代のもので、山城跡としては播磨最大級の規模を誇ります。



④感状山城跡
相生市矢野町瓜生
鎌倉時代に瓜生左衛門尉によって建てられたのち、赤松氏一門の居城に。建物の土台と思われる石群が当時のまま残っています。



⑤中道子山城跡
加古川市志方町岡
南北朝時代に赤松氏によって築かれたと伝えられている本格的な山城です。秀吉の播磨攻めで落城したといわれています。



⑥称名寺(加古川城跡)
加古川市加古川町本町313
織田軍と毛利軍が戦うきっかけとなった「加古川評定」が行われました。南北朝時代に主君を守ろうとして奮死した従臣7名の供養塔があります。



⑦常楽寺(神吉城跡)
加古川市東神吉町神吉1413
織田軍の播磨攻めにおいて、城主の神吉頼定は約3万の大軍に包囲され、果敢に抵抗しましたが落城しました。



⑧観音寺(志方城跡)
加古川市志方町志方町720
赤松氏の家臣、櫛橋家の居城で、黒田官兵衛の妻である光が生まれた場所です。1578年に織田軍により落城しました。



⑨山下城跡
加古川市山下町城山
三木別所氏の家臣浦上久松の城で、三木合戦の後に廃城になったとみられています。現在にはふれあいの森として整備されています。



⑩小谷城跡
加西市北条町小谷字城山
赤松氏の上原民部大輔祐政が築城したと伝わっています。改変の痕跡から秀吉の播磨攻め前後に廃城になったと考えられます。



⑪長水城跡
宍粟市山崎町宇野・五十波
14世紀中頃に赤松氏によって築かれた後、宇野氏に城主が変わりましたが、1580年に秀吉の軍勢に攻められ落城しました。



⑫聖山城跡
宍粟市山崎町須賀沢
長水城を守るための出城として築かれたとみられます。播磨攻めの際に秀吉軍が攻め落とし、長水城を攻めるための陣を敷きました。



⑬篠ノ丸城跡
宍粟市山崎町横須
南北朝時代初期に赤松頼則によって築かれたと伝えられ、戦乱の中で落城と復興を繰り返しましたが、秀吉の播磨攻めの後廃城となりました。



⑭波賀城跡
宍粟市波賀町上野2-51
この地の有力者であった芳賀氏が築いたとみられています。現在は史跡公園として整備され、二層櫓、冠木門などが建てられています。



⑮鶴居城跡
神崎郡市川町鶴居
南北朝時代後期に永良三郎則綱によって築かれ、嘉吉の乱で落城。後の城主である広瀬氏も討死し、廃城になったとみられています。



⑯春日山城跡
神崎郡福崎町八千種
赤松氏の家臣として、室町幕府の成立に尽力した後藤基明によって築城。その後秀吉の播磨攻めにより、1578年に落城しました。



⑰柏尾城跡
神崎郡神河町柏尾
播磨と但馬の国境を見張るため、赤松氏の家臣である栗(栗)田氏が大嶽山の山頂に築いた城です。秀吉によって攻め落とされたと伝わっています。



⑱寺前城跡
神崎郡神河町寺前
赤松氏の家臣、本郷氏の居城であると伝えられています。嘉吉の乱で山名氏に攻め落とされたと伝わっています。



⑲楯岩城
播磨郡太子町太田
巨岩が楯のように立ち並ぶところからその名が付いたといわれます。赤松貞村以後5代続きましたが、秀吉によって攻め落とされました。



⑳佐用(福原)城跡
佐用郡佐用町佐用
赤松氏の家臣である福原氏が城主となった平山城で、1577年に黒田官兵衛と竹中半兵衛によって攻め落とされました。



㉑上月城跡
佐用郡佐用町上月
播磨、美作、備前の国境にあることから、軍事上的重要な拠点として織田軍と毛利軍の激しい攻防が繰り返されました。



①恒屋城跡
姫路市香寺町恒屋
15世紀中ごろに恒屋氏が築城したと伝えられる山城。秀吉の播磨攻めで落城したとされます。獸状壁堀群などの遺構が残っています。

今に伝わる松右衛門帆

工楽松右衛門

[1743~1812]

高砂生まれの実業家・発明家。廻船業を営むかたわら、丈夫な帆布を発明。「松右衛門帆」として知られるようになります。その後、択捉島で波止場を築造するなど海運業に貢献。現在、松右衛門帆を再現した商品も作られています。



②天児屋たたら公園「たたら里学習館」(宍粟市)
宍粟市では古くから北部一帯でたたら製鉄が行われており、千種鉄としてその名が知られていました。その代表的な遺跡である天児屋鉄山跡に、たたら製鉄の歴史や工程を紹介し、千種鉄の魅力を再発見できる学習館が整備されています。
宍粟市千種町西河内1048-38 ☎0790-76-3833

播磨は譜代の中規模藩と外様の小藩による分割支配が定着していききました。それでも姫路を中心とする播磨は西国の抑えとして幕末まで重要な機能を果たしました。
およそ300年間続いた江戸時代では、産業・文化が発展しました。播磨でも、江戸時代初期にはすでに野里鍋(播磨鍋)、宍粟鉄(千種鉄)、阿古塩(赤穂塩)など数々の特産品が名を残しています。また、今に伝わる民家や寺院などの建築物、神事芸能、庶民文化などが数多く生まれました。



⑤旧小国家住宅(福崎町)
1871年の播但一揆に名を残す小国鐵十郎の生家。江戸末期に建てられた主屋・長屋門、99mの土塙と昭和中期に建てられた診療所の4棟が国の登録有形文化財に登録されています。



①林田大庄屋旧三木家住宅(姫路市)
林田藩の大庄屋である三木家住宅。建築時期は江戸初期と考えられ、大庄屋の建築として県下で年代が推定できる最も古い遺構です。
姫路市林田町中構74

豊臣秀吉と関係の深かった播磨の諸将は、関ヶ原の戦い(1600年)で西軍の石田三成につきまします。結果は西軍の惨敗。勝利した徳川家康は政治の実権を握ると早々に、播磨一国52万石を娘の婿である池田輝政にたたくて西国の要としました。西国将軍と呼ばれた輝政は姫路に入ると、秀吉の城を解体して連立式天守の姫路城を完成させました。
輝政が外様大名であったこと、また姫路藩が广大であったことから、幕府はその没後、姫路藩の石高を減らし始めます。1617年に譜代大名である本多忠政が姫路に入った以降の石高は15万石。減った石高は、山崎藩、赤穂藩、平福藩、龍野藩、明石藩、鶴藩(後の新宮藩)、林田藩に振り分けられます。その後も福本藩、三日月藩、安志藩が配置されるなど、



④河原田農村芝居堂(宍粟市)
宍粟市一宮町河原田1348-1



③上三河の舞台(佐用町)
佐用郡佐用町上三河117-2

江戸時代

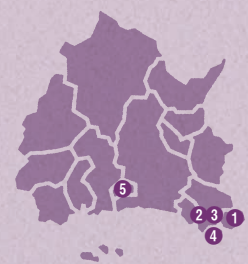
現代まで続く特産品も誕生します!



18世紀から明治時代にかけて、農村歌舞伎が郷土芸能として発展しました。兵庫県の農村舞台数は全国でもずば抜けて多く、播磨では佐用郡・宍粟市で多く見られましたが、現存するものは少なくなっています。上三河の舞台は明治時代の再建ですが、回り舞台や屋根裏回転機構(二階廻し)など各種の舞台機能を持つ貴重な建物です。河原田農村芝居堂も明治時代の建物で、宍粟市に数多く存在した農村歌舞伎舞台のうち、保存状態のよい遺構です。

明治・大正時代

文明開化で暮らしが変わったね!



② ニッケ宅宅俱樂部(加古川市)

明治時代末期から大正時代にかけて建てられた2棟の木造洋館です。当初は事務所として建てられ、後に移築され欧米から招いた外国人技術者の居住施設として使われました。
加古川市加古川町本町



① 播州葡萄園跡(稲美町)

西欧式農法の試験と普及を目的に1880年に開園された国営ワイナリー。日本の近代化を伝える遺産として約5万㎡の区域が国指定史跡になっています。
加古郡稲美町印南ほか



③ 平木橋(加古川市)

1915年に神戸の淡河川と山田川から農業用水を引く疎水事業の 일환として作られた水路橋です。花崗岩のアーチとレンガが組み合わされています。
加古川市野口町水足247



④ 別府鉄道(播磨町ほか)

多木製肥所(現:多木化学)が自社製品の輸送のために敷設した路線。播磨町郷土資料館には当時活躍した機関車と客車が屋外展示されており、中へ入ることができます。
播磨町大中1-1-2 ☎079-435-5000(播磨町郷土資料館)



⑤ 太子山公園(太子町)

播電鉄道が経営した太子山遊園地跡が太子山公園として整備されています。公園には蒸気機関車D-51が保存されています。
播磨郡太子町鶴135-1

も明治政府のビッグプロジェクトです。

1872年には鉄道の敷設も始まり、明治から大正時代にかけて次々と路線が開通しました。1909年に開通した播電鉄道や1911年に開通した別府鉄道など、現在では廃止された路線もあります。

一方、旧制姫路中学をはじめ龍野中学、加古川中学などが次々と誕生し、いち早く新しい時代を担う人材を育てるための教育に力を入れました。

日本近代化を推し進めた 大鳥 圭介

[1832~1911]

かみごおりちよう かんがく いがく らんがく
上郡町生まれ。漢学、医学、蘭学、西洋兵法・砲術、英語を修め、幕臣旗本となります。明治維新後はその能力を評価され、殖産興業に尽力、工部大学校校長(東京大学工学部の前身)、学習院院長になるなど教育関係の役職を歴任。また日清戦争前の外交交渉に尽力しました。



新聞の父

ジョセフ・ヒコ

[1837~1897]

はりまちよう 播磨町生まれ。幼名:彦太郎。1850年、江戸から播磨へ帰る時に船が難破し、アメリカ船に救助されてサンフランシスコの学校で学びます。洗礼を受けてジョセフ・ヒコと改名し、日本人で初めてアメリカ国民になりました。1859年に帰国すると、通訳で活躍。日本で初めての新聞「新聞誌」を発刊し、翌年には「海外新聞」と改題。新聞の父と呼ばれています。



昭和時代

播磨では、明治後期から海岸部を中心に急速に工業化が進み、1931年に満州事変が起こると製鉄や鉄鋼などの軍需工場が次々と建てられるようになります。1941年に太平洋戦争が始まると、播磨地方も激しい空襲にさらされ大きな被害を受けました。こうした惨劇を繰り返さないため、全国が戦災都市が連盟を結び、空爆などにより亡くなられた民間人犠牲者を供養するために慰霊塔が姫路市に建てられました。復興に向かった日本経済は、1955年以降は高度経済成長期に入っていきます。1957年には明石から赤穂までの臨海部が全国で五番目の播磨臨海工業地帯に指定されるなど急速に発展し、日本の高度経済成長を強力にけん引しました。また、1970年代になると経済の発展とともに道路輸送の需要が増え、主要道路の整備が進みました。

昭和の主な出来事

- 1929 播磨造船所が神戸製鋼から独立(相生市)

- 1931 姫路城を国宝に指定(姫路市)

- 1936 国鉄姫津線(現JR姫新線)開通

- 1939 日本製鐵(株)広畑製鐵所が創業(姫路市)

- 1941 太平洋戦争が始まる

- 1943 播丹鉄道を国に移管、国鉄加古川線が開業

- 1945 姫路などで大規模な空襲・終戦

- 1952 鶴林寺本堂・太子堂(加古川市)、一乗寺三重塔(加西市)を国宝に指定

- 1956 姫路城で昭和の大修理が始まる(姫路市)
太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔が手柄山に完成(姫路市)

- 1958 書写山ロープウェー完成(姫路市)

- 1962 大中遺跡の発見・発掘調査が始まる(播磨町)

- 1964 播磨臨海地帯が工業整備特別地域に指定

- 1966 姫路大博覧会が開催(姫路市)
姫路モノレールが開通(姫路市)

- 1972 山陽新幹線 新大阪-岡山間が開通

- 1973 播但連絡自動車道の一部が開通

- 1975 中国自動車道が開通

- 国道2号姫路バイパス全線開通



姫路大博覧会にあわせてモノレールが開通、8年に渡って運行されました。



①町裏浄水場(姫路市)
姫路市で上水道が給水されたのは1929年のことです。町裏浄水場は当時の姿がほぼ完全な形で残っている近代水道施設です。



②太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔(姫路市)
太平洋戦争中の空爆などにより亡くなられた民間人犠牲者を供養し、世界の恒久平和を祈念するために1956年に建てられました。

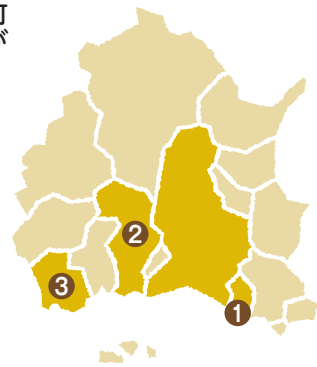


③名古屋山霊苑(姫路市)
1953年開園。1960年には、インドの故ネール首相から贈られた仏舎利を安置する仏舎利塔が完成しました。



播磨の日本遺産

「日本遺産」は地域の歴史的な魅力や特色を通じて文化や伝統を語るストーリーです。播磨圏域には**4つの日本遺産**が文化庁によって認定されています。



1 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間

北前船寄港地・船主集落

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



① 工楽松右衛門旧宅 (高砂市)



② 室津海駅館 (たつの市)



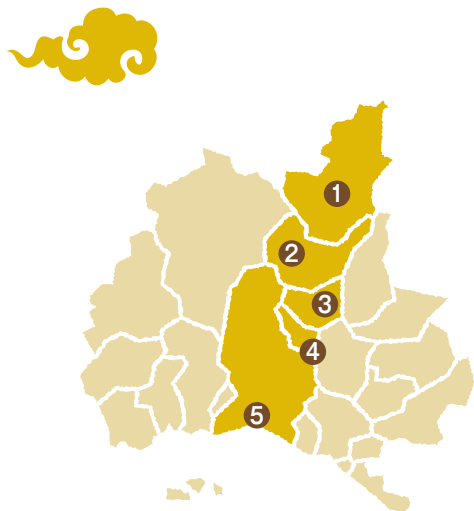
③ 坂越の船祭 (赤穂市)

2

播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道

資源大国日本の記憶をたどる 73 kmの轍

兵庫県中央部の播但地域を南北に貫く一本の道。飾磨港から生野、さらに中瀬に連なる全長73kmのこの道は、明治時代に国家の未来を託し切り拓いた国内初の舗装された産業道路です。鉱石を乗せた馬車や人々が行き交い、経済、技術、文化発展の礎となり日本を近代化へとけん引しました。当時の熱き志と息遣い、そして現代へと繋がれた歴史の轍は日本遺産に認定され、さらなる未来へと繋がっています。馬車復活事業をはじめ、様々なイベントを通じ、今もこの道は人々を惹きつけています。



① 生野鉱山 (朝来市)



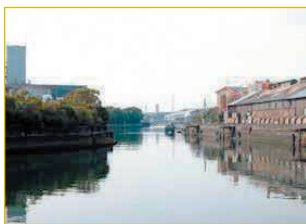
② 竹内家住宅 (神河町)



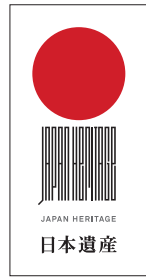
③ 屋形町 (市川町)



④ 辻川町 (福崎町)



⑤ 飾磨津物揚場跡 (姫路市)



3 1300年つづく日本の終活の旅 『西国三十三所観音巡礼』

全国に600コース以上あると言われる札所巡りの中で、西国三十三所観音巡礼は約1300年の歴史を持つ日本最古の巡礼路です。総距離は約930kmに及び、大阪・京都・兵庫・奈良・和歌山・滋賀・岐阜と2府5県を包括するように伸びています。当初、僧侶や修験者の厳しい修行だった西国三十三所巡礼は、時代とともにルートが整備されて庶民にも広まり、江戸時代には伊勢神宮や熊野三山の参拝とも結びつくことで人気となりました。

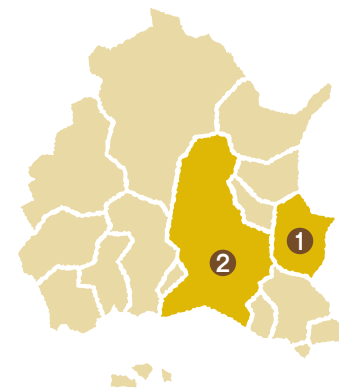


4 「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

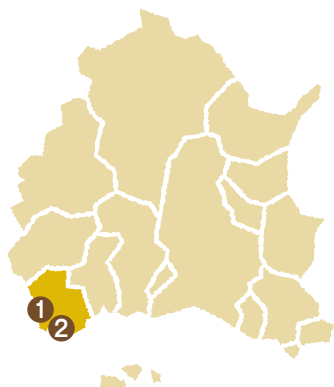
江戸時代、システムティックな入浜塩田による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした、良質の砂からできた広大な干潟は、入浜塩田の開発に適しており、その製塩技術は、瀬戸内海沿岸に広がり、市場を席卷するまでに成長しました。中でも赤穂の塩は、国内きつてのブランドとして名を馳せ、赤穂に多様な恵みをもたらしました。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいています。



①一乗寺 本堂(加西市)



②圓教寺 摩尼殿(姫路市)



①旧日本専売公社赤穂支局(赤穂塩務局)事務所(赤穂市)



②赤穂市立海洋科学館・塩の国(赤穂市)

※令和7年4月1日から「赤穂の天塩海洋科学館」に名称変更します。(令和12年3月31日まで)

ものづくりを支える最先端の科学施設

目に見えない「原子」を観察し、
新素材の開発に利用

スプリング エイト SPring-8

すべての物質は、目に見えない小さな「原子」という粒同士がいくつも組み合わせられてできています。その原子を観察できる施設を放射光施設といいます。SPring-8は世界最高性能を持つ大型放射光施設の一つで、その研究結果が新素材の開発などに利用されています。



©RIKEN

マイクロ機械を作るための
立体加工が行える

ニュースバル

ニュースバルは、SPring-8と同様に放射光施設（中型放射光施設）です。現在の機械加工技術では不可能なμm（マイクロメートル＝1mmの1000分の1）以下の立体的な加工を行うことができ、さまざまな分野で利用されるマイクロ機械の製造に役立っています。



兵庫県立大学提供

▶ 地域資源の魅力向上

播磨は古来より「豊穡の地」と呼ばれ、温暖な気候と豊かな自然がもたらす山海の食材に恵まれています。世界でも高評価を得ている日本酒や革製品をはじめとする多彩な播磨の地場産品・特産品等の付加価値の向上、圏域内外での販路開拓支援・PRを通じて、地域資源の魅力向上に繋がる取り組みを進めていきます。

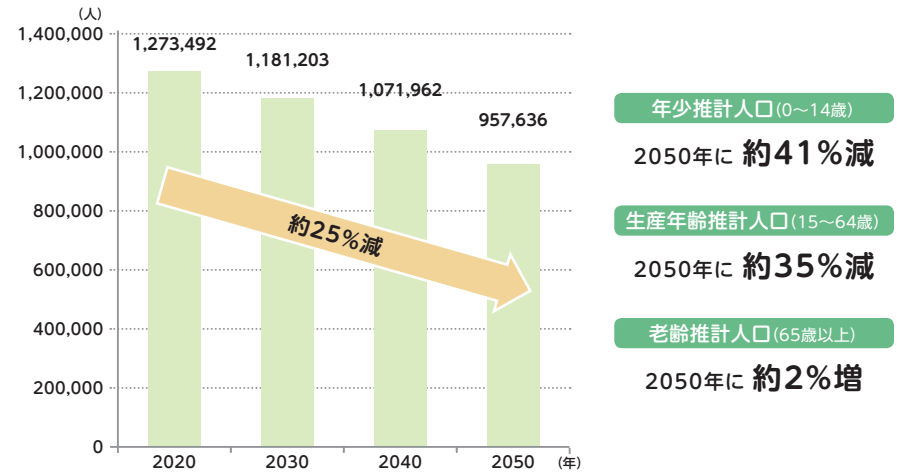
▶ 交流人口の増加

平成の大修理を終えた世界文化遺産「姫路城」をはじめ、播磨圏域内の国宝などの歴史的建造物、豊かな自然・文化などの地域資源を活用し、国内外からの観光客等の誘客を促進し、交流人口の増大に繋がる取り組みを進めていきます。

播磨圏域連携中枢都市圏の現状

■ 播磨圏域の将来推計人口

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年12月公表)



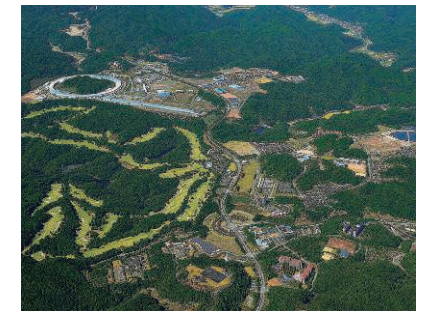
播磨圏域8市8町における将来人口は、今後30年間で約32万人減少すると予想されています。0歳から64歳までの人口が減少する一方で、65歳以上の人口が増え、少子高齢化が更に進むことが予想されます。

播磨圏域連携中枢都市圏構想で目指すこと

① 播磨圏域の経済の活性化

▶ 「ものづくり力」の強化

ものづくりの一大拠点である播磨圏域。優れた中小企業が集まるとともに、世界に誇る最先端の科学技術施設が並ぶ播磨科学公園都市があり、新たな技術や新素材・新製品の開発が行われています。そんな播磨圏域に多くの企業を誘致することで、産業の振興や雇用の創出を図り、次世代のものづくりに取り組んでいきます。



播磨科学公園都市(兵庫県企業庁提供)

ミュージアムガイド

② 圏域の魅力の向上

さまざまな機能を備えた都市をつくる

＼ 主な取り組み /

■ JR姫路駅前の整備とネットワークづくり

播磨圏域の中核都市にふさわしい都心づくりに向け、姫路駅周辺の整備が行われました。魅力ある商業施設や付加価値の高いサービス産業、様々な情報交流がよりスムーズに行える施設が導入されました。



③ 住民に安心・快適な圏域づくり

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

＼ 主な取り組み /

■ 広域防災

大規模な災害が発生したときの相互応援体制や地域の防災力を高めるため、災害を防ぐ、または減らす体制の充実を図ります。

■ 社会教育施設の相互利用

住民の社会教育活動を支援するため、圏域各市町の図書館や博物館などの相互利用を進めます。

■ 地域公共交通

JR姫路駅を起点とした地域の公共交通ネットワークを強化するため、JR姫新線・播但線の利用促進などを行います。

■ 移住・定住促進

移住・定住希望者のさまざまな要望に対応するため、地域の特長を生かした対策に取り組んでいきます。

注目!

どんぐりカードで
社会教育施設等が利用できます。

播磨圏域各市町にお住まいの^{さい}4歳から中学3年生までの皆さんは、姫路城、姫路市立動物園、姫路市立水族館、姫路科学館などが無料で利用できます。

④ 姫路市立美術館

姫路の美術文化の発展や市民が優れた美と出会う場所となることを目的とし、郷土ゆかりの作品や国内外の作品を収集・展示しています。赤れんがの建物は明治時代に旧陸軍が倉庫として使っていたものを活用しています。

- ◆時間／10:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週月曜日(祝休日は開館)、月曜日が祝休日に当たる場合の翌平日、年末年始(詳細はHP確認)
- ◆料金／一般210円、18歳未満無料
- ※大規模修繕等工事のため、令和8年4月1日から令和9年12月末(予定)まで長期休館中



姫路市本町68-25 ☎079-222-2288

③ 兵庫県立歴史博物館

兵庫県の歴史や、姫路城と城下町のこと、地域の祭りなどについて学べる施設。体験コーナーが充実し、子どもから大人まで楽しめます。姫路城の北側にあり、建物の窓ガラスに姫路城が映るのが特徴です。

- ◆時間／10:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週月曜日(祝休日は開館)、月曜日が祝休日に当たる場合の翌日、年末年始
- ◆料金／一般200円、大学生150円、小中高生・幼児無料、70歳以上100円



姫路市本町68 ☎079-288-9011

⑥ 手柄山温室植物園

大小2つの温室があり、大温室では洋ランや食虫植物などの熱帯・亜熱帯植物など、小温室ではサボテンなどの砂漠植物などを展示しています。市の花・サギソウが年中見られるように温室栽培も行っています。

- ◆時間／9:00～17:00(入園は16:30まで)
- ◆休日／毎週金曜日(祝休日は開園)、金曜日が祝休日に当たる場合は前日、12月29日～1月1日
- ◆料金／一般250円、6歳～中学生100円



姫路市手柄93 ☎079-296-4300

⑤ 姫路市立動物園

姫路城の敷地内にある「お城の中の動物園」。カバやキリンなど約90種約370点の動物たちを飼育し、動物とふれ合うこともできます。観覧車やモノレールなどのミニ遊園地も人気です。

- ◆時間／9:00～17:00(入園は16:30まで)
- ◆休日／12月29日～1月1日
- ◆料金／一般250円、5歳～中学生50円



姫路市本町68 ☎079-284-3636

ミュージアムガイド

MUSEUM GUIDE



播磨にある美術館や博物館、資料館、動物園や植物園など、さまざまな施設を紹介しています。詳しく知りたいことや学びたいこと、体験したいことがあれば、ぜひ訪ねてみましょう。

※お盆など臨時休業は省略しています。料金は令和8年4月1日時点の情報を掲載しており、また、特別・企画展などにより変更になる場合があります。事前にご確認ください。

② 姫路文学館

和辻哲郎や司馬遼太郎など、姫路や播磨ゆかりの作家や、姫路城にまつわる物語を紹介するミュージアム。建物は安藤忠雄の設計。入館無料の南館にはカフェや親子で絵本が楽しめる〈よいこのへや〉などもあります。

- ◆時間／10:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週月曜日(祝休日は開館)、祝休日の翌平日、12月25日～1月5日
- ◆料金／一般450円、18歳未満無料



姫路市山野井町84 ☎079-293-8228

① 姫路科学館

科学の展示とプラネタリウムを備えた「他ではできない体験ができる」総合科学館です。展示を通した「実験体験」と「本物体験」、直径27メートルのドームスクリーンをもつプラネタリウムでの宇宙体験などを楽しめます。

- ◆時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週火曜日(祝休日は開館)、祝休日の翌平日、12月27日～1月3日
- ◆料金／〈常設展示〉一般600円、小中高生210円、幼児無料(プラネタリウム)一般600円、小中高生210円、幼児無料



姫路市青山1470-15 ☎079-267-3001

⑫兵庫県立考古博物館

弥生時代の弥生時代の遺跡のそばにあり、兵庫県内の遺跡から出土した考古資料を展示しています。発掘体験や古代人への変身コーナー、勾玉づくりや火おこしなど、体験を通して昔の人の知恵を学ぶことができます。

- ◆時間／9:00～17:00(有料ゾーンへの入場は9:30～16:30まで)
- ◆休日／毎週月曜日(祝休日は開館)、月曜日が祝休日にあたる場合の翌日、年末年始、12月下旬にメンテナンス休館あり
- ◆料金／一般200円、大学生150円、高校生以下無料



佐用郡佐用町西河内407-2 ☎0790-82-0598

⑪赤穂市立民俗資料館

明治時代、大蔵省塩務局の庁舎として建てられた洋風建築。板張りの淡い水色の壁やアーチ状の玄関などが特徴です。館内には江戸時代から昭和中頃に赤穂で使われた生活用品や農耕用具を展示しています。

- ◆時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週水曜日(祝休日は開館)、水曜日が祝休日にあたる場合の翌日、12月28日～1月4日
- ◆料金／一般100円、小中学生50円



赤穂市加里屋805-2 ☎0791-42-1361

⑧星の子館

「泊まって、遊んで、天文台で星を見よう」が合言葉の宿泊型児童館。天文台「あさひらら」を使った天体観望会を毎晩開催しており、宿泊することもできます。プレイルームやどくしょルームもあり、親子で楽しめる施設です。

- ◆時間／9:00～17:00(宿泊者は21:00まで)
- ◆休日／毎月第2水曜日(8月と12月は開館)、12月28日～1月4日
- ◆料金／無料(宿泊は宿泊料が必要)



姫路市青山1470-24 ☎079-267-3050

⑦姫路市立水族館

手柄山中央公園内にある、全国でも数少ない「山の上の水族館」。ウミガメやペンギンがいるほか、播磨の海や川、池にいる身近な生き物の展示に力を入れています。サメやヒトデなどを触れるタッチプールもあります。

- ◆時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週火曜日(祝休日は開館)、火曜日が祝休日にあたる場合の翌日、12月29日～1月1日
- ◆料金／一般600円、小中学生250円



姫路市西延末440 ☎079-297-0321

⑭兵庫県立大学西はりま天文台

星と宇宙の魅力を伝える天文台で、宿泊もできます。口径2mの天体望遠鏡「なゆた」は公開望遠鏡としては世界最大級で、宿泊者向け天体観望会を毎夜行っています。宇宙や星空に関する講演会や出前観望会も行っています。

- ◆時間／9:00～21:00
- ◆休日／毎月第2・第4月曜日(祝休日は開館)、月曜日が祝休日にあたる場合の翌日、12月28日～1月3日、その他メンテナンスによる休園日あり
- ◆料金／無料(宿泊は宿泊料が必要)



加古郡播磨町大中1-1-1 ☎079-437-5589

⑬かんざきビノキオ館

見て、作って、ふれあう、木を通じた交流スペース。ノコギリや金づちを使って手作りの楽しさを実感し、森と木の文化を学びます。館内では、神河町内産の木材を使った木工製品の製造、販売もしています。

- ◆時間／9:00～16:30
- ◆休日／毎週火曜日(祝休日は開館)、火曜日が祝休日にあたる場合の翌日、12月28日～1月4日
- ◆料金／無料(木工体験は体験料が必要)



神崎郡神河町山田30-1 ☎0790-32-1796

⑩姫路市平和資料館

太平洋戦争での姫路空襲に関する資料や映像などを展示し、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える資料館。慰霊塔のそばに建っています。戦争を体験した人の話を聞く会や企画展なども開催しています。

- ◆時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- ◆休日／毎週月曜日(祝休日は開館)、祝休日の翌日(土日祝休日にあたる場合は開館)、12月28日～1月5日
- ◆料金／一般250円、小中学生50円



姫路市西延末475 ☎079-291-2525

⑨兵庫県立こどもの館

子どもたちが遊びや表現活動、工作を楽しめる施設で、たくさんの遊びスペースや体験コーナーがあります。昔遊びの伝承にも取り組んでいます。保護者の子育てでネットワーク作りの場としても利用されています。

- ◆時間／9:30～16:30
- ◆休日／毎週火曜日(祝休日は開館)、火曜日が祝休日にあたる場合の翌日、月末日(月末日が火曜日の場合は翌日も休館)、12月29日～1月3日
- ◆料金／無料(工作等は実費が必要)



姫路市太市中915-49 ☎079-267-1153

かこがわし 加古川市

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
☎ 079-421-2000 (代表)
☎ 079-422-1403

面積 138.48km²

<https://www.city.kakogawa.lg.jp/>



県下最大の一級河川加古川の豊かな恵みを受け発展。市南部には住宅や工業地帯が、北部には田園風景が広がり、豊かな自然と都市的な利便性を兼ね備えた町です。国宝を有する「鶴林寺」をはじめ、多数の文化遺産もあります。

産業

靴下製造や建具生産といった地場産業に加え、沿岸部には鉄鋼業などの工場が並びます。加古川和牛や加古川パスタといった魅力ある特産品があります。

イベント



日岡山公園ぼんぼりライトアップ



加古川ソーデーマーチ

3月下旬～5月上旬
日岡山公園ぼんぼりライトアップ
5月 踊っこまつり
11月 加古川ソーデーマーチ

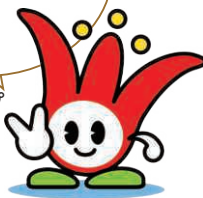


市の木 クロマツ



市の花 ツツジ

加古川かつめしは、
学校給食にも出てくる
加古川市民の大好物！
みんな食べに
来てね！



ウエルピー

ひめじし 姫路市

〒670-8501 姫路市安田4-1
☎ 079-221-2111 (庁内番号案内)
☎ 079-221-2076 (広報課)

面積 534.35km²

<https://www.city.himeji.lg.jp/>



播磨地域の中核市。世界文化遺産 姫路城は、平成の大修理を終えて2015年にグランドオープン。白鷺城の名にふさわしく美しく生まれ変わり、世界中から多くの観光客が訪れます。播磨の伝統的な祭りや書写山園教寺など観光資源が豊富な市域です。

産業

日本酒や皮革、お菓子など伝統的な地場産業に加え、沿岸部では電機、製鉄、化学などの工場が立ち並び、播磨臨海工業地帯を支えています。

イベント



姫路城観桜会



姫路お城まつり

3～4月 姫路城観桜会
5月 姫路お城まつり
6月 姫路ゆかたまつり
11月 書写山もみじまつり



市の木 カシ



市の鳥 シラサギ

姫路城の内堀では春と秋に
和船に乗って水上から
お城を眺めることができますよ！



しるまるひめ

あこうし 赤穂市

〒678-0292 赤穂市加里屋81
☎ 0791-43-3201 (代表)
☎ 0791-43-6892 (総務部行政課)

面積 126.85km²

<https://www.city.ako.lg.jp/>



兵庫県の南西部、岡山県との県境に位置します。市内を清流千種川が流れ、南部は瀬戸内海国立公園に面した自然豊かで温暖な気候の市域です。赤穂義士の町としても有名で、全国から多くの観光客が訪れます。

産業

江戸時代から続く塩づくりの伝統を生かした塩製品、牡蠣をはじめとした海産物などの地場産品が豊富。これらの特産物と赤穂義士を資源として、観光産業に力を入れています。

イベント



坂越の船祭り



赤穂義士祭

6月 土曜夜店
夏 赤穂元禄ゆかた祭り
10月 坂越の船祭り
12月14日 赤穂義士祭



市の木 サクラ



市の花 ツツジ

夕日が美しい赤穂御崎は
「恋人の聖地」に
選ばれているんだよ！



陣たくん

あいおいし 相生市

〒678-8585 相生市旭1-1-3
☎ 0791-23-7111 (代表)
☎ 0791-22-6439 (企画広報課)

面積 90.40km²

<https://www.city.aioi.lg.jp/>



南の海岸部は瀬戸内海国立公園の一部で、北は播磨科学公園都市に接する海と山に囲まれた自然豊かな南北にのびる長い市域。龍をかたどった木造船によるペロン競漕で知られます。

産業

造船業を中心とした工業都市として発展。近年は、西播磨テクノポリス構想における副母都市として産業・経済の基盤づくりを進めています。

イベント



羅漢の里もみじまつり



相生ペロン祭

5月最終日曜日とその前日
相生ペロン祭
11月
羅漢の里もみじまつり
2月ごろ 相生かきまつり



市の木 ツバキ



市の花 コスモス

「羅漢の里もみじまつり」では
かかしコンテストを開催！
約1,000体ものかかしが並ぶよ！



ど根性大根
大ちゃん

宍粟市



〒671-2593 宍粟市山崎町中広瀬133-6
☎ 0790-63-3000 (代表)
☎ 0790-63-3060

面積 658.54km²



<https://www.city.shiso.lg.jp/>

宍粟市は県内で2番目に広い面積を有し、その約9割を森林が占める自然豊かなまちです。2015年には、県内初となる「森林セラピー基地」にも認定され、森林の持つ新たな魅力が注目されています。また「播磨国風土記」の記述から「日本酒発祥の地」を全国に発信しています。



市の木 プナ



市の花 ササユリ

産業

豊かな森林を資源とした林業や木工製品、家具生産などの地場産業があります。素麺生産も盛んで、手延べ素麺「損保乃糸」の名産地でもあります。

イベント



山崎納涼夏祭り



最上山公園もみじ山

- 4月下旬～5月上旬 千年藤見ごろ
- 8月 山崎納涼夏祭り
- 11月 最上山もみじ祭り

4月の終わりから5月にかけて、大蔵神社では美しい藤の花が咲き「千年藤」と呼ばれてたくさんの観光客が訪れるのよ。



シーたん

高砂市



〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1-1-1
☎ 079-442-2101 (代表)
☎ 079-442-2229 (代表)

面積 34.38km²



<https://www.city.takasago.lg.jp/>

「たかさごやこの浦舟に帆をあげて」と結婚式やめでたいときの謡曲「高砂」で有名な高砂市は、古くから白砂青松の風景が美しい場所として栄えてきました。曾根天満宮など伝統的な播磨の祭りに加え、最近ではまち中が灯りに包まれる「たかさご万灯祭」で賑わいます。



市の木 マツ



市の花 キク

産業

採石業が盛んで亀山石の産地として有名ですが、現在は大阪や神戸に近い立地を生かし、機械や製紙などの工業が中心で、播磨臨海工業地帯の中核となっています。

イベント



たかさご万灯祭



Night Fantasy Illusion

- 9月 たかさご万灯祭
- 11月 Night Fantasy Illusion

夫婦円満と長寿の象徴「尉と姥」は、イザナギとイザナミの二人の神様が姿を変えたものだとされているりん!



ぼっくりん

たつの市



〒679-4192 たつの市龍野町富永1005-1
☎ 0791-64-3131 (代表)
☎ 0791-63-2594

面積 210.87km²



<https://www.city.tatsuno.lg.jp/>

市を南北に流れる損保川を中心に発展。山陽道や損保川、室津港など古くから陸路、海路ともに交通の重要な拠点でした。新舞子浜や綾部山梅林、龍野城など、自然と歴史の魅力あふれるまちです。童謡「赤とんぼ」の作詩者、三木露風のふるさととして知られます。

産業

風土が生み出した手延素麺や醤油醸造、皮革産業といった地場産業が根づく一方、播磨科学公園都市では、先端技術を活用したものづくり産業も発展を続けています。

イベント

- 4月上旬 龍野さくら祭と武者行列
- 8月 龍野納涼花火大会
- 11月 たつの市民まつり
- 2月 みつ梅まつり



龍野納涼花火大会



市の木 ウメ



市の花 サクラ

たつの市は、ランドセルの生産が有名なんだよ!



赤とんぼくん



あかねちゃん

加西市



〒675-2395 加西市北条町横尾1000
☎ 0790-42-1110 (代表)
☎ 0790-43-1800

面積 150.22km²



<https://www.city.kasai.hyogo.jp/>

播州平野のほぼ中央にある加西市は、多くの古墳や日本で一番古いといわれる石仏などがあり、「播磨国風土記」にも伝説が記されている歴史の町です。最近では北条鉄道やうづらのひこうじょうあと 鶴野飛行場跡・気球を活かしたまちづくりを進めています。

産業

農業用ため池が多く米作りに適しています。ぶどう「加西ゴールドンベリーA」など果物や花の生産も盛んです。電池や金属製品等の製造も盛んです。

イベント



北条節句祭り



五百羅漢 千灯会

- 4月上旬 北条節句祭り
- 8月8日 五百羅漢 千灯会
- 8月 加西サイサイまつり
- 9月 グリーンパークトリアスロンin 加西
- 11月～5月 気球のフライト



市の木 カシ



市の花 サルビア

乗って楽しい北条鉄道! ハンバーガーに手打ちそばなどなど。。。各駅には楽しみがいっぱい!



ねっぴん

市川町



〒679-2392 神崎郡市川町西川辺165-3
☎ 0790-26-1010 (代表)
📠 0790-26-1049

面積 82.67km²



<https://www.town.ichikawa.lg.jp/>

兵庫県のほぼ中央にあるハート形をした町で、中央を南北に流れる市川を中心とし、笠形山の笠形神社のご神木であったヒノキの巨木は、姫路城天守閣を支える心柱になっています。「羅生門」「七人の侍」など日本映画の黄金期を築いた脚本家、橋本忍の生誕の地です。

産業

市川町は1930年、日本で初めてゴルフクラブのアイアンヘッドを製造しました。現在も町内に約15社の工場があり、町を支える産業です。海外への輸出も行っています。

イベント



- 7月 市川まつり
- 10月 甘地の獅子舞奉納
- 2月 市川マラソン全国大会

笠形神社



町の木 カシ



町の花 ヒマワリ

市川町観光交流センターでは、毎月第2土曜日に朝市が開かれていますよ



ひまりん

稲美町



〒675-1115 加古郡稲美町岡岡1-1
☎ 079-492-1212 (代表)
📠 079-492-5162

面積 34.92km²



<https://www.town.hyogo-inami.lg.jp/>

万葉集に「いなみ野」と詠まれ、古くから人が生活してきました。兵庫県最大の加古大池、兵庫県最古の天満大池など、88ものため池がある農業の町です。その景色は文化庁から「稲美のため池群」として文化的景観における重要地域180カ所の1つに選ばれています。

産業

基幹産業は農業。神戸市、明石市、加古川市など都市部に近いことを活かし、米やいなみ野メロンなどを「稲美ブランド」としてPRしています。

イベント



- 10月 第2土曜日・日曜日 天満神社秋祭り
- 2月 高菌寺鬼追式

天満神社秋祭り



町の木 モチノキ



町の花 コスモス

ため池では、ウインドサーフィンや池の周りのジョギングなど、スポーツがさかんだよ!



いなっち

福崎町



〒679-2280 神崎郡福崎町南田原3116-1
☎ 0790-22-0560 (代表)
📠 0790-23-0687 (総務課)

面積 45.79km²



<https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/>

福崎町は周囲を山に囲まれ、町の中央を市川が流れる自然豊かな町です。日本民俗学の父、柳田國男生誕の地として知られ、「銀の馬車道」が通る辻川地区には、國男の生家や歴史民俗資料館、三木家住宅などの文化遺産があります。

産業

もちむぎ麵、もちむぎカステラなど、もちもちした食感が特徴の「もちむぎ」で町おこしをしています。町内には3つの工業団地があり、農業、工業、商業がバランスよく調和しています。

イベント



- 4月上旬 民俗辻広場まつり
- 8月上旬 福崎夏まつり・山桃忌
- 11月23日 福崎町自然歩道を歩こう大会

福崎町自然歩道を歩こう大会



町の木 クロガネモチ



町の花 サルビア

辻川公園の池の中から15分おきに河童が現れるよ!



フクちゃん



サキちゃん

播磨町



〒675-0182 加古郡播磨町東本荘1-5-30
☎ 079-435-0355 (代表)
📠 079-435-3398

面積 9.13km²



<https://www.town.harima.lg.jp/>

兵庫県で面積が最も小さい自治体で、その3割は埋め立て地です。しかし、歴史は古く、大中遺跡や県立考古博物館など、古代のロマンが感じられる町です。アメリカへ漂流し、のちに日本初の新聞「新聞誌」を発刊したジョセフ・ヒコのふるさととしても知られます。

産業

沿岸部の埋め立て地では製造業を中心に約60もの工場が播磨町の産業を支えています。干しだこやのりなどの海産物も特産品です。

イベント

- 4月 はりま春風フェス
- 10月 古宮獅子舞
- 11月 大中遺跡まつり
- 1月下旬 ロードレース大会



古宮獅子舞



町の木 マツ



町の花 キク

「はりま☆土器ドキ☆ダンス」をイベントで披露することもあるんだよ!



いせきくん

やよいちゃん

かみごおりちょう

上郡町



〒678-1292 赤穂郡上郡町大持278
☎ 0791-52-1111 (代表)
☎ 0791-52-5172

面積 150.26km²



兵庫県の南西部に位置し、西は岡山県に接しています。町の中央部を南北に千種川が流れ、町全体が「水の郷」に指定されています。播磨の守護大名赤松氏の発展を築いた赤松円心のふるさとでもあります。

産業

佐用町、たつの市にまたがって播磨科学公園都市があり、大学や研究機関、企業などがさまざまな研究を行っています。農業ではモロヘイヤが特産で、モロヘイヤを使ったうどん「円心モロどん」があります。

イベント



赤松歴史まつり

7月 "川の都"かみごおり川まつり
11月 赤松歴史まつり



町の木 ツバキ



町の花 ダリア

モロヘイヤ加工品は
うどんだけじゃなく、
羊羹もあるんだよ!



円心くんとけいすけくとイトちゃん

かみかわちょう

神河町



〒679-3116 神崎郡神河町寺前64
☎ 0790-34-0001 (代表)
☎ 0790-34-0691

面積 202.27km²



兵庫県のほぼ中央にあるハート形の町。鉄道や道路が整っていることから、姫路市や京阪神へもアクセスしやすい町です。ススキが美しい砥峰高原や、水車が残る町としても知られています。

産業

中心産業は農業で、ユズやユズ加工品の生産が盛んです。揚水発電所があるほか、豊かな自然を活用した観光施設がたくさんあります。映画やドラマのロケ地として使われる砥峰高原には多くの人を訪れています。

イベント



名産のユズ



日吉神社のとんぼ道中

8月 かみかわ夏まつり
10月 日吉神社のとんぼ道中



町の木 モミジ



町の花 サクラ

女優の「のん」さんは
神河町出身だよ!



カーミン

さようちょう

佐用町



〒679-5380 佐用郡佐用町佐用2611-1
☎ 0790-82-2521 (代表)
☎ 0790-82-0131

面積 307.44km²



佐用町は鳥取や島根に向かう道が交差する地点で、古くから宿場町として栄えました。現在も複数の鉄道や自動車道が交わる交通の拠点です。町を南北に千種川が流れ、水辺にはホタルやメダカが生息する自然豊かな地域です。

産業

中心産業は農業。「みそ」や「ひまわり油」、「そば」など特産品が充実。「みそ」に使われる「佐用もち大豆」は、大豆として全国で初めて地理的表示(GI)保護制度に登録されました。西はりま天文台やひまわり畑には多くの人を訪れ、観光も重要な産業のひとつです。

イベント



南光ひまわり畑

4月 桜まつり
7月～8月 南光ひまわり祭り



町の木 イチョウ



町の花 ヒマワリ

ひまわり畑の北にある
南光自然観察村では、
ツリーハウスやコテージなど
宿泊型のアウトドアが楽しめるよ!



おさよん

たいしちょう

太子町



〒671-1592 揖保郡太子町鶴280-1
☎ 079-277-1010 (代表)
☎ 079-276-3892

面積 22.61km²



太子町は、聖徳太子が推古天皇から土地をもらって栄えた聖徳太子ゆかりの町です。町のシンボルである斑鳩寺では、毎年「太子会式」が開かれ、今でも歴史ある街並みが残っています。姫路市や京阪神のベッドタウンとしても発展した住みやすい町です。

産業

都市部へのアクセスが良いことから、電機メーカーの工場や多くの商業施設が進出しています。特産品「太子みそ」「太子いちじく」は兵庫県認証食品に選ばれています。

イベント



太子夏会式



太子あすかふるさとまつり

8月21・22日 太子夏会式
11月 太子あすかふるさとまつり
2月22・23日 太子春会式



町の木 サザンカ



町の花 ヒマワリ

太子町ゆかりの有名人は、
聖徳太子のほかに、
野口聡一宇宙飛行士がいるよ!



あすか姫、ぼうじい、たいし君

- 掲載データは2026年2月時点のものです。イベントの日程などは変更される場合がありますので、事前にご確認ください。
- 掲載写真は各市町および取材協力いただいた方からの提供で、現在のものとは限りません。

播磨の8市8町を学ぶ
とくほん
はりま読本

令和8年(2026年)3月 第12刷

姫路市 政策局ひめじ創生戦略室

〒670-8501
兵庫県姫路市安田四丁目1番地
TEL.079-221-2381

<https://www.city.himeji.lg.jp>

播磨圏域連携中枢都市圏事業